

10月22日(木)

## 農地パトロールにご協力を

農業委員会では10月22日(木)、町内全域において農地パトロール(農地利用状況調査)を行います。

このパトロールは、農地法に基づき年1回、遊休農地や遊休化のおそれがある土地を把握し、農地の有効利用の促進や違反した転用を防止することなどを目的に行うものです。

パトロールの際には、農業委員が農地へ立ち入る場合もありますので、所有者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

### ■ 遊休農地の解消に向けた手続き

遊休農地とは、1年以上耕作されておらず、今後も耕作される見込みがない農地をいいます。

このパトロールにより確認した遊休農地は「再生可能」「再生困難」に仕分けられ、再生可能な農地は利用意向調査を行い、その解消に向けて事務手続きを進めます。再生困難な農地は、農業委員会総会の議決により「非農地判断」をし、所有者などに通知します。

☎農業委員会事務局 ☎66-2111 内線250/251

## クマに注意！

クマの活動が活発になる時期になりました。山間地での作業や入山時などには特に注意してください。

### ■ 山でクマに遭わないための8カ条

- ①単独でなく、複数で行動する
- ②鈴やラジオなどで時々音を出しながら行動する
- ③絶えず周囲の様子に気を配る
- ④音が消される強風時や沢沿いは特に注意する
- ⑤夜間、明け方、夕方の入山は避ける
- ⑥食べ残しは放置せず、密封して持ち帰る
- ⑦撃退グッズを活用する(忌避スプレー、鉈など)
- ⑧地域のクマ情報を確認してから出掛ける

### ■ もしクマに出会ったら

- ①走って逃げない、背中を見せない
- ②持ち物を静かに置いて注意をそらす
- ③注意しながら静かにゆっくり後退する
- ④クマとの間に木や岩を挟むようにする
- ⑤風向きに注意して忌避スプレーを使う
- ⑥クマが攻撃してきたら、両手で顔や頬をカバーして防御する

☎農林環境エネルギー課 ☎66-2111 内線141

## 空き家バンクに登録しませんか？

町では、空き家の有効活用を推進するため、空き家バンク「おでゃあんせ！くずまきへ」登録事業を行っています。空き家バンクに登録するための手続きは次のとおりです。

☎総務企画課 ☎66-2111 内線223

### 町へ登録申込書を提出

住まいとして提供できる(賃貸、売却)空き家がある場合、所有者が町へ「空き家バンク登録申込書」を提出します。

### 町が住宅の状況を確認

町が住宅の状況確認を行い、登録できる物件だった場合は、住宅の写真撮影や間取り図の作成を行います。

### 町のホームページなどで公開

登録物件として町のホームページなどで公開します。

### 利用希望者と直接交渉

利用希望者があった場合は、町から所有者に連絡します。利用希望者は、所有者と直接交渉します。

※町は、利用希望者と所有者との取次ぎを行います。利用に当たっての交渉や契約などに関わることはできません。

### ■ 「空き家バンク」に登録できない住宅

- ①床が抜け落ちている、柱が傾いているなど現況の状態が居住に適さない住宅。
- ②以前住んでいた方の私物が大量に残っている場合(利用希望があったときに、所有者が速やかに処分できる場合は除く)。

### ■ 空き家活用を奨励します(5万円を交付)

町内に空き家を所有する方が、空き家バンクに登録し、Uターン、Iターン者へを売買または賃貸した場合、町から5万円の奨励金を交付します。詳しくは、総務企画課へお問い合わせください。

### ■ ご理解をお願いします

町に空き家を「買い取ってほしい」「譲りたい」との相談がありますが、町では特別な場合を除き、住民から空き家を購入したり、譲渡を受けることはしていません。

10月12日(月)休(四日市~田代)

## 燃えるごみの収集を休みます

古紙類(野中~大平橋)、生ごみ(田子、城内小路、下町)は収集します。

☎農林環境エネルギー課 ☎66-2111 内線143

## 10月は3R推進月間

Reduce(リデュース/ごみそのものを減らす)

Reuse(リユース/何回も繰り返し使う)

Recycle(リサイクル/分別して再び資源として利用する)

この機会に環境にやさしい買い物を心掛けましょう。▶買い物には、マイバッグやマイバスケットを持参し、レジ袋は辞退する。▶詰め替え製品を選び、本体の容器は繰り返し使用する。▶スプーンや割り箸は、家にあるものを使用し、使い捨てのものは辞退する。▶過剰包装は辞退し、簡易包装にしてもらう。▶長く使えるものや修理可能なものを購入し、長く大事に使う。▶再生資源利用製品(リサイクル製品)を選ぶ。

☎農林環境エネルギー課 ☎66-2111 内線143

10月1日(木)~24日(土)は

「かしこい交通ライフ」チャレンジウィーク

## バスや自転車を利用しましょう！

県では、10月1日(木)から24日(土)までを「かしこい交通ライフチャレンジウィーク」と位置付け、公共交通機関の利用促進を呼び掛けています。

来年は、岩手国体が開催され、県内各地で競技会場の周辺道路の混雑が予想されており、県ではマイカー利用を自粛し、公共交通機関を利用するよう求めています。

皆さんもこの機会に、バスや自転車の利用、乗用車の相乗りなど、「かしこい」交通機関の利用にチャレンジしてみませんか？

### ■ 忘れていませんか？ 100円バスの助成手続き

町内を運行する100円バスのうち、「JRバス白樺号」と「県北バス」は、利用者がいったん正規の運賃を支払う必要があります。

運転手から受け取る「バス利用証明書兼助成申請書」を、役場住民会計課の窓口へ提出すると、100円を差し引いた分の運賃の助成が受けられますので、忘れずに手続きしましょう。

☎総務企画課 ☎66-2111 内線223

### 参加者募集！

## 第8回全日本薪積み選手権大会

《一薪・巻・牧・トリプル薪フェスタ2015》

【日時】

10月11日(日) 11時30分~

【場所】

JRバス葛巻駅構内

(まちなか紅葉まつり会場)

■個人の部/格子状に積み上げた薪の高さを競います。■団体の部(3人1組)/テーマは「くずまき」。「くずまき」をイメージして積み上げた作品の通気性、安定性、アート性を競います。■参加申込/10月7日(水)までに農林環境エネルギー課へ。■賞品(くずまき商品券)/個人の部優勝3,000円、団体の部優勝20,000円 ※3位まで賞品があります。

☎農林環境エネルギー課 ☎66-2111 内線141

## 宝くじの助成を受けて整備しました



宝くじは高額な当選金が注目されがちですが、本来の目的は公共事業への活用です。

財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及広報を目的として文化振興やコミュニティ助成事業など各種事業を行い、皆さんの活動を支援しています。

今年度は、下記のとおり助成金の支援を受け備品を購入しました。助成金に関する相談は総務企画課までお問い合わせください。

### ■ 下冬部七ツ物保存会(240万円)

衣装一式、太鼓、音響設備など



☎総務企画課 ☎66-2111 内線223